

棚田の一年

※地域により日程、内容等は異なります。

中山間地の斜面に小さな田んぼが何枚も連なる棚田。
近年、絶景とも称される棚田の景色が注目を集める一方、棚田は平地の水田以上に労力が必要です。
一年を通じて棚田地域にどんな農作業や人々の交流があるのか、棚田オーナー制度の活動を活発に展開している稲渚地区を例に紹介します。

稲渚

村をあげて歴史的風土や景観が守られている稲渚棚田では、「つなぐ棚田遺産」のほか「重要文化的景観」にも選定されています。平成8年から実施している棚田オーナー制度などを通じ、地域外の人たちからの協力を得て、交流を深めながら、日々の営農活動によって美しい棚田景観が守られています。



春

- 1. 水路の清掃** 田植え前に、田んぼに水をひきこむ水路（大井堤）にたまった土砂、枯葉を取り除きます。
- 2. れんげ・菜の花まつり** 農道や休耕田に咲くれんげや菜の花を鑑賞しつつ、今年度の棚田オーナーの方々との交流を深めます。
- 3. 苗代づくり** 田植えに向けて、稲の苗を育てるための「苗床」を作り、その苗床に籾を蒔いて作ったパレットを敷き詰めます。
- 4. 田植え** 稲の苗を植えていきます。地元農家のインストラクターの指導の下、棚田オーナーが手で植えています。



夏

- 5. 草刈り** 稲の生育をよくするために、畦や田んぼの中に生えた雑草を刈っていきます。
- 6. 土用干し** 水田の水を抜いて乾かすことで、稲は水を求めて根を張り、肥料の吸収が良くなり、丈夫に育ちます。
- 7. 獣害対策** 山あいに近い棚田ではイノシシや鹿の獣害対策が必要です。稲渚地区では1年中、電気柵とトタン板柵の2重の対策をします。

秋



- 8. かかしコンテスト** 「かかし」を一般募集し、展示するコンテストは稲渚の秋の風物詩です。毎年、テーマを決めて地域で作るジャンボ案山子として、令和4年は世界平和を願い、お地蔵さんを展示。
- 9. 稲刈り** オーナー制度の棚田では、手刈りをします。稲刈りをした後の稲を「はざ」にかけて、天日乾燥します。
- 10. 収穫祭** 最終的に玄米に仕上がった時に全員で懇親を深め、収穫の喜びを分かち合います。



冬

- 11. 冬化粧** 寒暖差の激しい地域では冬化粧の棚田が見られます。
- 12. 伝統行事** 稲渚では毎年1月初め、五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄を祈願する「綱掛神事」が継承されています。稲渚大学の人とたくさんの棚田オーナーとともに明日香川に、男綱をかけます。

棚田農家のメッセージ



棚田オーナーの方々とは、ウィンウィンの間柄です

おぐら もとつぐ
NPO 法人明日香の未来を創る会 理事長 小倉 基次 さん

80を超える稲渚の棚田オーナーの半数は大阪、京都、兵庫の県外の方々です。オーナーの家族や友人も参加し、私たちと一緒に作業するので、多い時は300人ほど集まります。田植えや稲刈りを手作業で行うのは大変ですが、土に触れて命を育てる農業体験として楽しんでもらえればと思っています。

また、棚田オーナーが刈った稲わらは保存され、綱掛神事で使用されます。農家の水田ではコンバインで稲を刈っており、稲わらは短く裁断されるので、貴重な材料として活用しています。

Contact 連絡先

Data
傾斜1/20以上の棚田 11.47ha
人口 145人（令和4年）

稲渚棚田 NPO 法人明日香の未来を創る会

奈良県高市郡明日香村稲渚 593 番地の1
（稲渚棚田憩いの館内）
Mail : asukamirai@gmail.com

f @asukamirai @asukanomirai

WEB



Access アクセス

明日香周遊バス「かめバス」石舞台バス停より徒歩30分
京奈和自動車道 橿原北インターチェンジの交差点より車で25分

Check! ミニ情報

棚田オーナー制度

〈たんぼコース〉苗代づくりから収穫まで、農家の指導を受けながら米づくりが楽しめます。

【会費：1区画(100m²)当たり 40,000円】
他にも多数のコースを用意。